

(資料 2020.10.16)

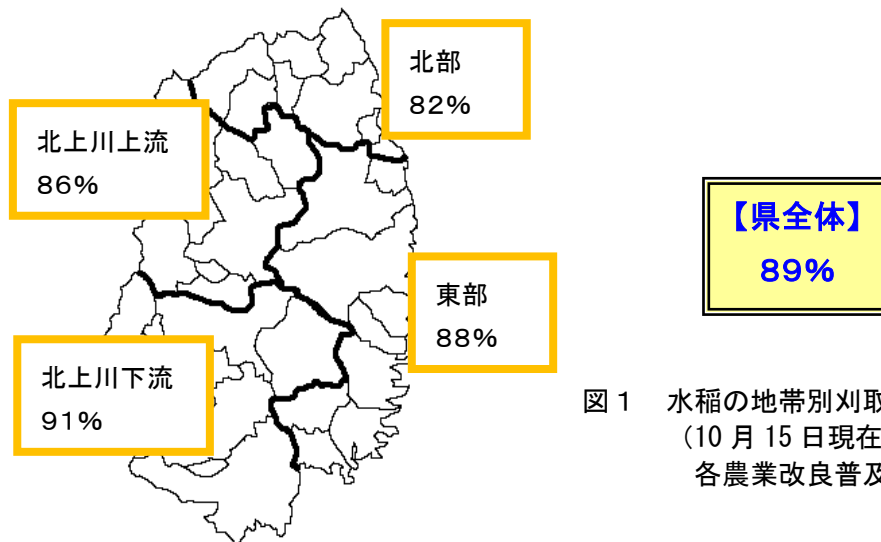
水稻の刈取状況（10月15日現在概況速報）について

- 1 10月15日現在、県全体の89%で刈取りが終了しており、平年並みの進捗である。
- 2 地帯別には、北上川上流が86%、北上川下流91%、東部88%、北部82%で概ね平年並みの進捗であり、間もなく終期に達する見込み。

表1 水稻の地帯別刈取状況（10月15日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	10月15日現在進捗(%)		本年(月/日)			平年(月/日)			平年差(日)		
	本年	平年	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	86	85	9/25	10/5		9/23	10/4	10/15	+2	+1	
北上川下流	91	89	9/22	10/2		9/25	10/4	10/12	-3	-2	
東部	88	92	9/21	10/2		9/23	10/1	10/11	-2	+1	
北部	82	85	9/28	10/6		9/27	10/5	10/15	+1	+1	
県全体	89	88	9/23	10/3		9/24	10/4	10/13	-1	-1	

- 1) 平年値・・・過去10カ年（H22～R1）の平均値
- 2) 刈取作業の進捗・・・10%:始期、50%:盛期、90%:終期
- 3) 県全体の数字は、地帯別の作付面積による加重平均。



3 管理のポイント

- ・県内の水稻は既に成熟期を過ぎており、刈遅れは着色粒・胴割粒、白未熟粒の混入率を高めやすいので、速やかに刈取りを行うこと。
- ・倒伏した圃場では、作業速度を遅くし、刈分けにより品質確保に努めること。
- ・収穫時期は日没が早まるので、計画的に作業をすすめ、農作業安全に心がけること。
- ・籾の乾燥は二段乾燥を心がけ、玄米水分15%以下に仕上げること。
- ・自然乾燥では、乾燥期間は2週間以内とし、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げること。